

事業名	山梨県立青少年センター		
細事業名	青少年センター管理運営委託費	財務コード	635201
担当部課室	教育委員会 部 社会教育 課 青少年保護育成 担当 (内線) 1605		

## 事業の概要

実施期間	始期 H26 年度 ~ 終期 H30 年度		
実施主体	指定管理者(公益財団法人 山梨県青少年協会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	・青少年及び青少年を指導する者 ・勤労者	・活動、研修、交流の場として施設を提供することや、各種スポーツ教室や文化教養を高める事業を通して、様々な体験活動ができる状態。	・青少年の健全育成 ・勤労者の福祉の増進 ・地域社会の発展
事業の内容 主にH27年度	○施設の利用承認等に関する業務    ○施設管理に係る業務 ○管理運営に必要な業務            ○防災等に係る業務 ○施設及び設備の維持管理業務 ○青少年健全育成等に係る業務 ・主催事業の実施(20事業) ( )内延べ参加者数 レッツチャレンジ「異年齢集団と様々な体験活動」(28人)、小学生のための防災教室(45人)、ちびっこプール(390人) あそびから学ぶ「ゲームなどを楽しみながら、英語学習」(30人)、親子おもしろあそび塾(4人)、おやこで着衣泳(26人) 気軽に始める!健康ウォーキング(9人)、初心者のためのグラウンドゴルフ(140人)、フットサル教室(99人) コスプレ(400人)、子ども運動塾(94人)、KIDSストリートダンス(26人)、親子でふれあいあそび(163人)、着付け教室(69人)、 大人の“美的”フェイシャル・ヨガ(77人)、着衣泳を学ぼう(5人)、骨盤底筋フィットネス(102人) レクリエーションインストラクター養成講座(152人)、居場所づくり(1,893人)、センター祭り(2,500人) ・自主事業の実施(18事業、うち:委託事業(2事業)、補助金事業(1事業)) 委託事業:若者サポートステーション(厚生労働省)、少年の主張((独)国立青少年教育振興機構) 補助金事業:青少年育成山梨県民会議事業(県補助金)		
	根拠法令等	山梨県立青少年センター設置及び管理条例	

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	26年度	27年度		28年度	29年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	稼働率	52%	54%	53%	54%	54%	目標設定の考え方 過去5年間の年間の最高稼働率を適用。 平成20年度から平成24年度の実績値と平均上昇率をもとに設定。 データの出典等 事業計画書 事業報告書
	主催事業の参加人数	4,864人	7,012人	6,252人	7,022人	7,032人	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%			
成果指標	利用者数	221,267人	288,898人	236,024人	289,334人	289,770人	目標設定の考え方 平成20年度から平成24年度の実績値と平均上昇率をもとに設定。 すべての利用者が満足する施設運営をする。 データの出典等 モニタリングシート
	利用者満足度	99.2%	100%	99.8%	99.8%	100%	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			
決算額又は予算額 (千円)	107,180		103,978	105,017	106,353	成果指標によらない成果	
うち一財額	107,147		103,945	104,984	106,320		
所要時間(直接分)	3,696 時間		3,708 時間	3,696 時間	3,696 時間		
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間		
所要時間計	3,696 時間		3,708 時間	3,696 時間	3,696 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,044円×所要時間)	7,555		7,579	7,555	7,555		

## これまでの事業の見直し・改善状況

・設置から46年が経過している施設であるが、指定管理制度導入時から、利用者の安全と快適な利用を確保するために、施設設備の適切な機能保全及び資格取得など職員自らの技術を向上させ、公的資格を取得した職員が、点検・診断を実施している。  
 ・指定管理制度導入時から、外部団体との提携による、平日を中心とした各種スポーツ教室を展開するなど、利用者数・稼働率の増加につながっている。

活動量と成果の判断(平成27年度の業績評価)

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H27年度活動指標の達成率		稼働率や主催事業の参加人数については、目標値をそれぞれ下回ったが、平成27年度の実績値と比較して約28%上回り、目標値の約90%を達成していることから、概ね予定通りの活動量がある。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H27年度成果指標の達成率		平成27年度の利用者数は、平成24年度の県立図書館の開館及び自治体における庁舎の整備が進んだことなどから、会議室の利用が減少し、当初の目標(288,898人)には及ばなかったが、前年度の実績値と比較して約14,800人増加し、82%を達成していることから、概ね意図した成果をあげている。 利用者満足度は調査において、99.8%の利用者が満足であるとの評価を得ていることから、概ね意図した成果をあげている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	当該施設は昭和45年の開設以来、46年が経過しており、今後は県の公共施設の個別施設管理計画にもとづき、施設の保全について検討していく。  平成28年度は、リピーター・新規利用者の確保に向けて広報活動を強化し、利用者拡大に向けて取り組みを進めている。 平成29年度に向けては、利用者数の目標を達成するため、青少年を取り巻く社会環境の変化に応じた課題を的確に把握し、既存の主催事業の見直しや、新たな事業企画を検討する。	b

・「以外の判断項目」の欄

a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	施設の設置目的や利用状況、近隣の類似施設の状況や今後修繕で必要となる経費等を検証し、平成30年における次期指定管理選考時までに、関係者と調整を図りながら、施設のあり方、適正規模、改修の方向性について、総合的に検討していく。	b

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	施設を有効に活用するため、平成30年における次期指定管理選考時までに、現在取り組んでいる事業の検証を含め、類似のサービスが提供されている近隣施設の動向や利用状況の把握、修繕箇所及び必要経費の整理など、当該施設のあり方について検討する。 併せて、同一敷地内における体育施設など重複している機能について整理し、施設ごとの利用形態を勘案する中で当該施設の適正な規模について精査する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

	課題と見直しの方向性
県の施設としての必要性	<p>(国、市町村または民間の類似施設の状況、業務(機能)の必要性、施設の必要性(当施設がないとできないか)、必置規制等を踏まえ県が設置する個別の理由はあるか等)</p> <p>○本施設は、青少年の健全育成をはじめとする社会教育的な役割と勤労者の福祉の向上を図るため、スポーツ施設や会議室、ホール、宿泊室などを備えた複合施設であり、多様なプログラムで構成する主催事業や交流事業などを通して、学校とは異なる青少年及び勤労青年の多様な主体的活動の場と機会を提供するとともに、自ら体験する参加型イベントなどを展開し、勤労者・青少年が利用できる県内唯一の施設である。</p> <p>また、青少年のニーズを踏まえた環境づくりや支援事業等を実施するとともに、スポーツ・文化教養学習・体験活動等、青少年の社会参加や仲間づくり、地域社会との交流を促進する県の中核的施設である。</p> <p>本施設のグラウンドは、「やまなし防災アクションプラン」において、大規模災害時における県中央エリアにおけるヘリポートとしての使用が位置付けられている。</p>
廃止・移譲・集約化・複合化等	<p>(廃止した場合の影響、市町村・民間等への移譲の検討、類似施設・近隣施設との集約化・複合化の可能性等)</p> <p>○本施設は、平成15年度に、県が策定した「公共施設改革プログラム」により、青少年の健全育成と勤労者の福祉の向上の一体的な推進を図るため、勤労青年センター、青少年会館、青年の家を統廃合し、さらに、平成15年10月に、雇用・能力開発機構から譲渡を受けて、甲府勤労者総合福祉センターも統合することにより、利用者の利便性と管理運営主体の一元化を図った。その際、平成15年度で用途廃止となった「県立青年の家」の代替施設として、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第22条に基づく、財産の処分制限の適用を受けている(国への補助金返還が発生する恐れがある)。</p> <p>○本施設を廃止した場合、青少年健全育成と勤労者の福祉の向上を図る、県内唯一の施設として、これまで県民に提供してきた多様なサービスやその機能を失うことになる。</p>
管理方法	<p>(指定管理者制度の導入の可否、指定管理者制度導入の効果、業務委託・職員配置・利用料金は適正か等)</p> <p>○平成18年度から指定管理者制度を導入しており、パスポートや回数券の発行など独自の割引制度や、閉館時間の延長、夏季休業中の無休営業など、利用者サービスの向上に柔軟に対応しており、利用者満足度調査においても、高い満足度を得ており、今後も、指定管理者制度による効率的な運営を継続する。</p>
利用状況	<p>(利用者の増減理由、利用者増に向けた取組、利用者が少ない施設の根本的な改善策、利用者の意見を取り入れているか等)</p> <p>○利用者数は、平成24年度をピークに減少したが、企業向けに利用案内パンフレットを作成し、積極的な広報活動を実施した結果、一般企業による宿泊研修等が増えたことにより、平成27年度には勤労者の利用が増加に転じている。なお、利用者アンケートにより、利用者の意見を取り入れている。</p>
効率性	<p>(収支の状況・利用者1人当たりの経費の状況は効率的か、業務内容の効率性・経費の効率性から見て、改善の余地はないか等)</p> <p>○平成27年度には、利用者数が増えたことによって、利用者1人当たりの経費を削減している。特に、小中高生の個人利用が近年増加している。</p> <p>○平成15年度に、勤労青年センター、青少年会館、甲府勤労者総合福祉センター(リバース和戸)を統合し、管理運営主体を一元化することにより、ひとつの窓口から多様な利用方法を選択でき利用者の利便性向上と管理運営の効率化を図っている。</p> <p>統合後、多岐に及ぶ施設を管理することことで、多様なプログラムへの対応が可能になり、効率的かつ効果的な運営を継続している。</p>
規模の適正性	<p>(施設の規模は業務内容に照らして適正か、未利用の部屋・施設はないか、施設更新時の減築の可能性等)</p> <p>○宿泊施設、体育施設等各施設の稼働率は増加傾向にあり、利用者形態も宿泊を伴うスポーツ活動や企業の研修、サークルの運営など多岐にわたっており、今後とも、各種事業の展開や青少年の健全育成を図っていくためには、同程度の規模が必要である。</p>
社会環境の変化	<p>(当初目的は達成しているのではないか、事業量は適正か、県民ニーズの変化に対応しているか等)</p> <p>○国は平成22年4月に「子ども・若者育成支援推進法」を、また、平成26年1月には「子どもの貧困対策推進法」を施行し、困難を有する子供・若者など、官民挙げて支援していくことを規定し、県では「やまなし子ども・若者育成指針」及び「やまなし子どもの貧困対策推進計画」を策定した。こうした社会環境の変化に伴い、就労支援など青少年健全育成を担う本施設へのニーズも高まっている。</p> <p>○こうした青少年の諸課題に対し、主催事業のほかに、喫緊の課題である、適正なインターネット利用やキャリアコンサルタントによる就労支援、子どもの貧困対策としての学習支援や相談事業など、施設の特性を活かした幅広い活動を実施している。</p>
その他の課題	<p>(老朽化の状況、耐震化未実施施設の状況、改築の必要性等)</p> <p>○開設以来、46年が経過しており、平成30年を目途に策定する、県の公共施設の個別施設管理計画にもとづき、施設の保全について検討していく。</p>

例示の項目を十分に踏まえた記載とすること。

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成27年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立青少年センター	所管課	教育委員会 社会教育課
所在地	甲府市川田町517	設置年月日 (改築年月日等)	昭和45年12月1日
指定管理者	公益財団法人山梨県青少年協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年センター設置及び管理条例		
設置目的	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することにより、その福祉の増進に資するため、青少年センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本館：第1研修室(72人)、第1会議室(24人)、第2会議室(45人)、第3会議室(24人)、第4会議室(12人)、第1・第2和室(各5人)、運動場、テニスコート、宿泊施設、食堂、事務室、書庫兼会議室、青少年相談室、体育館、プール(25m×15m、7コース)</li> <li>・別館：音楽室、団体事務室、団体交流室、多目的ホール(180人)、</li> <li>・リバース和戸館：第5会議室(18人)、第6会議室(18人)、第7会議室(25人)、第2研修室(50人)、第3研修室(30人)、第3和室(30人)、視聴覚室(48人)、体育室、トレーニング室</li> </ul>		
主な業務内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設の利用承認等に関する業務</li> <li>2 施設管理に係る業務</li> <li>3 青少年健全育成等に関する業務</li> <li>4 防災等に係る業務</li> <li>5 管理運営に必要な業務</li> <li>6 施設及び設備の維持管理業務</li> </ol>		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)</li> <li>(2) 小瀬スポーツ公園</li> <li>(3) 緑が丘スポーツ公園</li> </ol>
---------------------	--

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (目標値)
利用者数	利用者数	248,126	221,267	236,024	
	(うち事業参加者数)	(6,767)	(4,864)	(6,252)	
	利用者数合計	248,126	221,267	236,024	
	目標値	289,000	288,461	288,898	289,334
	目標値設定の考え方及びその理由	指定管理者が計画した利用者数を目標値とする。 (過去5年間(H20～H24)の実績値と平均上昇率を参考に設定した。)			
	対25年度比	-	89.2%	95.1%	116.6%
利用者率(施設全体)		50.0%	52.0%	53.0%	54.0%

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成26年度	平成27年度 (計画値)	平成27年度 (実績値)	平成28年度 (計画値)
収入	施設利用料	21,758,760	22,400,000	21,965,065	22,548,000
	指定管理者委託料	107,180,000	103,978,000	103,978,000	105,017,000
	その他	32,313,500	30,240,000	28,848,956	18,831,000
	収入合計(A)	161,252,260	156,618,000	154,792,021	146,396,000
支出	人件費	76,246,650	78,450,000	82,052,892	70,999,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	84,661,141	78,168,000	69,749,272	75,397,000
	うち外部委託費(B)	24,360,698	24,400,000	20,706,950	22,809,000
	支出合計(C)	160,907,791	156,618,000	151,802,164	146,396,000
収支差額(A-C)		344,469	0	2,989,857	0
外部委託比率(B÷C)		15.1%	15.6%	13.6%	15.6%
利用者一人当たりの経費		484.4	359.9	440.5	363.0

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成27年4月～平成28年3月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:1,944件
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の広さは十分ですか	89.2%	9.5%	1.0%	0.3%
②備品用具の種類・数量は十分でしたか	89.2%	9.3%	1.1%	0.4%
③施設等は全体として充実していましたか	88.8%	11.0%	0.1%	0.1%
④利用施設は清潔でしたか	88.2%	11.3%	0.3%	0.2%
⑤設備は使いやすかったですか	89.6%	9.9%	0.5%	0.0%
⑥設備用具の整備状況は良好でしたか	89.1%	10.3%	0.4%	0.2%
⑦料金は適切だと思いますか	90.1%	8.1%	1.6%	0.2%
⑧職員の対応は適切でしたか	91.9%	7.4%	0.6%	0.1%
⑨利用可能時間は適切と思いますか	87.1%	9.6%	2.8%	0.5%
⑩施設のバリアフリーは十分でしたか	84.7%	12.8%	2.2%	0.3%
⑪サービス内容は全体的に良好でしたか	90.3%	9.1%	0.5%	0.1%
施設全般の満足度	94.9%	4.9%	0.1%	0.1%

利用者の意見	①別館ロビーのエアコンの効きが悪い。 ②更に長時間の予約が取れると良い。 ③体育館が暑い。
利用者の意見への対応	①修理・改修を県に要望している。 ②公平な施設利用と、利用の競合を防ぐという観点から、ご利用人数により「時間」と「スペース」に制限を設けている。「5名以下の利用」は、予約可能時間を1時間、「6名以上の利用」で、2時間までの予約が可能としている。それ以外の利用については「競技会」としての利用方法があるので、そちらを案内する。今後、同意見相次ぐ場合は、再度検討する。 ③体育館には冷暖房設備は設置されていない。冷暖房を希望する方には、「リバース和戸館の体育室」の利用を案内する。また、環境省の熱中症予防サイト等の「運動環境の指針」を活用し、利用者へ安全な利用の呼びかけを行っていく。

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法規に定めのないものについては、安全性をより重視して、日常点検・月次点検・定期点検を職員が実施した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務執行されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に業務が運営されている。今後も利用者の増加やサービスの向上に努めること。
利用状況	若干ではあるが、極端に小規模化していた各種団体の規模の回復が見られたことと、類似施設(小瀬スポーツ公園)や近隣小学校の改修工事による利用者の流入により、小学校や自治会の運動会利用が増加した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が減少している施設については、その要因を分析し、改善に向けて最善の方法を実行していくこと。</li> <li>・予約の空き状況を改善し、施設の利用数を増やすこと。</li> <li>・新規利用者の確保を図ること。</li> <li>・自主事業の内容を見直し、参加者増につなげること。</li> </ul>
収支状況	施設の使命と施設の利用促進を念頭に、利用者サービスの向上を十分配慮した予算管理を行った。 27年度は、プール改修工事のため、燃料費の削減が見込まれたことから、利用者の安全を第一に考えた施設修繕を充実させた。 また、修理委託業者の選定においては、競争原理を働かせ、修繕費の効率化を図っているが、引き続き、契約の必要性等を精査したうえで厳選して業務を行い、経費の削減に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に満足いただき、再利用されるよう、一層のサービス向上及びPRに努めること。</li> <li>・利用料金収入が減少した部分について十分に分析・検討し、職員一同が共通認識を持ち、常に改善のために努力と工夫をしていくこと。</li> </ul>
自主事業	計画どおり各事業を実施した。	業務計画書どおり、適正に実施されている。
利用者満足度	利用者アンケートの要望について、即座に対応可能な事については、迅速に対応しているが、専門的な知識や技術を要する修繕については、利用者の安全を第一に考えた上で対応を検討し、必要があれば所管課への報告と共に協議を行うこととしている。 また、アンケート内容を分析することで、利用者の声に耳を傾けたサービスの提供に努め、より良い施設運営を行う。	利用者アンケートについては、定期報告書により毎月報告されている。引き続き、アンケートをもとに、施設設備や業務の改善を図り、県民のニーズの把握に努め、管理運営に反映させること。

<p>運営目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度の総利用者数は、当初の目標数値(288,898人)には及ばなかったが、前年度比で約14,800人増加することができた。</li> <li>その主な要因は以下のとおりである。</li> <li>①センター最大定員(180名)の多目的ホール利用者が前年度比で13%増加したことにより、全体の稼働率も増加した。</li> <li>②宿泊室については、企業向け利用案内パンフレットを作成し、積極的な広報活動を行ったことで、以前から利用が多かったスポーツ少年団に加え、一般企業による宿泊研修が増加した。</li> <li>③毎年3月に実施している「センター祭り」への参加者が2,500名に上った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理については、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう、法律等の規定などに基づく管理を徹底し、コスト意識を踏まえた対応で適切に施設の維持管理を行った。</li> <li>・アンケートによる調査内容を分析し、利用者の声に耳を傾けたサービスの提供に努めた。</li> </ul>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定書や業務計画書に基づき、適正に管理・運営されている。また、常に課題を把握し、利用者拡大に向けて努力している。</li> <li>・利用者数については、前年度に比べて増加し、利用者の満足度は概ね良好であるが、引き続き利用者の声に耳を傾け、更なる施設稼働率の向上と利用者数の目標達成に向けて創意工夫を図ること。</li> <li>・施設の老朽化が進んでいるので、利用者が安全快適に利用できるように、常時、施設設備の点検を行い、不具合がないように迅速に対応すること。</li> </ul>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な利用を希望する団体については、目的・内容を確認し、規模に応じた施設を提供するなど、規模の大きな団体からの急な利用希望にも対応できるよう、施設の有効活用を図っていく。</li> <li>・新たな広報媒体である「SNS」を取り入れる等、常に多角的な方法を検討しながら広報をすすめ、新規利用者を積極的に誘客するように努める。</li> <li>・主催事業・自主事業に加え、多くの集客が見込めるイベントを誘致する。</li> </ul>



7 管理体制(組織図)

平成27年4月1日現在



館長	1 人
副館長	1 人
課長代理	1 人
一般職員	3 人
契約職員	8 人
嘱託職員	2 人
合計	16 人

# 県立青少年センター 外部評価 事前調査用説明資料

## 1 施設創設の経緯

### (1) 昭和45年12月1日

「山梨県立勤労青年センター」(甲府市川田町517)設置。働く青少年たちが、自主的な文化・学習活動・スポーツ・レクリエーション活動を通じて、余暇の活用と仲間づくりを推進するための施設として開設。(財)山梨県青少年協会へ管理委託。

### (2) 平成元年4月1日

「山梨県立青少年会館」(甲府市川田町517)設置。県下の青少年に自主的かつ創造的な活動の場及び仲間づくりの場を与え、その健全な育成を図ることを目的に活用する施設として開設。(財)山梨県青少年協会へ管理委託。

### (3) 平成15年4月

公共施設改革プログラムにより、抜本的な見直しの方向が示さ、青年の家(甲府市)と青少年会館(甲府市)・勤労青年センター(甲府市)を一体化し、青少年センターを設置した。

### (5) 平成15年10月1日

山梨県立青少年センターに雇用促進事業団(国)が設置した、「甲府勤労者総合福祉センター(リバース和戸)」(甲府市和戸町桜井畑地内1303)を統合し現在に至る。

## 2 山梨県立青少年センターの設置目的

青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進に資する。

## 3 山梨県立青少年センターの現状

○本施設は、青少年の健全育成をはじめとする社会教育的な役割と勤労者の福祉の向上を図るため、スポーツ施設や会議室、ホール、宿泊室などを備えた複合施設であり、多様なプログラムで構成する主催事業や交流事業などを通して、学校とは異なる青少年及び勤労青年の多様な主体的活動の場と機会を提供するとともに、自ら体験する参加型イベントなどを展開し、県内のみならず県外在住者や企業も利用できる県内唯一の施設である。

また、青少年のニーズを踏まえた居場所・環境づくりや支援事業等を実施するとともに、スポーツ・文化教養学習・体験活動等、青少年の社会参加や仲間づくり、地域社会との交流を促進するため、青少年に関する情報の収集や発信に取り組んでいる青少年健全育成を担う県の中核的施設である。本施設のグラウンドは、「やまなし防災アクションプラン」において、大規模災害時における県中央エリアにおけるヘリポートとしての使用が位置付けられている。

#### 4 将来的なビジョン

- 本施設は、スポーツ施設や会議室、ホール、宿泊室などを備えた複合施設であり、多様なプログラムで構成する主催事業や交流事業などを通して、学校とは異なる青少年及び勤労青年の多様な主体的活動の場と機会を提供し、青少年の健全育成と勤労者の福祉の向上を図ってきた。
- 今後は、多様化する青少年の諸問題に対し、主催事業のほかに、喫緊の課題（適正なインターネット利用など）やキャリアコンサルタントによる就労支援、子どもの貧困対策としての学習支援や相談事業など、困難を有する子供・若者の社会参加と居場所づくりのための環境をより一層充実させ、青少年健全育成に関する総合的な支援の場として幅広く活動していく。

## 平成27年度 青少年センター 主催事業・自主事業実施状況

### 青少年センター主催事業実施状況

番号	事業名	主な内容
1	レッツチャレンジ	異年齢集団が遊びや様々な体験を行い、仲間づくりを進める中で、自主性・協調性を高めさせた。
2	小学生のための防災教室	防災に関する知識を深めさせると共に、災害時における適切な行動を学ばせた。
3	ちびっこプール	プール南側の屋外スペースに子ども用プールを設置し、幼児から小学校低学年を対象とした水遊びスペースを提供した。
4	あそびから学ぶ	英語による簡単なあいさつや、自己紹介、ゲームなどを楽しむことで英語を身近に感じてもらい、英語学習への興味を抱かせた。
5	親子おもしろあそび塾	旗づくりやフォトゲイニングにチャレンジすることで、「親子の絆」を強めさせた。
6	おやこで着衣泳	親子を対象に、水難事故防止対策と救助方法を学ばせた。
7	気軽に始める！健康ウォーキング	正しいウォーキング姿勢を身につけるとともに、様々なウォーキング方法を学ばせた。
8	初心者のためのグラウンドゴルフ	ルールやマナーを実体験から学ぶことで、グラウンドゴルフへの関心をより一層深めさせた。
9	運動不足解消！必見！フットサル教室	ルール説明からはじめ、基本的なボールの蹴り方やパス練習を重ねることで、徐々にステップアップを図り、試合ができるまで上達させた。
10	コスプレ！	学園生活体験型コスプレイベント「空想学園祭」をおこない、県内外の参加者同士を交流させた。
11	子ども運動塾	器械運動(マット運動、鉄棒運動)をとおして達成感を味わい、運動を楽しむ気持ちを育てた。
12	KIDS ストリートダンス	リズム感と表現力を養い、仲間と動きや気持ちを合わせることで、コミュニケーション能力を身につけさせた。
13	おやこでふれあいあそび	親と子がふれあいをとおしてリフレッシュするとともに、子育ての悩みを相談できる場所を提供した。
14	着付け教室	着物の着方を勉強しながら、仲間づくりを進めた。
15	大人の“美的”フェイシャル・ヨガ	明るい表情を意識し、明るい気持ちになる「ハウツー」を体得させた。
16	着衣泳を学ぼう！	水難事故から身を守る「着衣泳(着衣水泳)」をとおして、水難事故の防止と救助方法を学ばせた。
17	骨盤底筋フィットネス	家庭で簡単にできる骨盤底を意識した正しい姿勢保持の仕方と、様々なトラブルを防ぎ、より快適な日常生活を送る方法を学ばせた。
18	レクリエーションインストラクター養成講座	日本レクリエーション協会の「レクリエーション・インストラクター」資格取得講座を実施した。倫理 15時間 実技 39時間
19	居場所づくり	青少年や子どもを持つ保護者同士が自由に集まり、仲間づくりや親子がふれあえるスペースを提供した。
20	センター祭り	地域に根ざした施設を目指し、文化・情報の発信地としての機能をセンターが担い、参加者(来館者)に楽しい一日を提供した。また、関係団体の日頃の活動の発表やPRの場とした。

### 青少年センター自主事業実施状況

番号	事業名	主な内容
1	備品貸し出しサービス	施設利用に必要な貸し出し備品を充実させ、利用者に対する利便性の向上を図った。
2	甲斐児わいわい紀行2015～体験と学びの4泊5日～	日常生活では体験できない長期に渡る集団宿泊生活をとおして、仲間と協力し合い、協調性や主体性を身につけさせた。(協会5施設合同事業)

青少年センター自主事業実施状況

番号	事業名	主な内容
3	施設利用促進広報事業	ホームページの内容の充実と、県内映画館でCM上映等をおこない、幅広い層への広報と施設の利用促進を図った。
4	利用者支援サービス	本館、リバース館へコピー機を設置し(各館1台)、利用者に対する利便性の向上を図った。

青少年センター自主事業実施状況(若者サポートステーション事業)

番号	事業名	主な内容	
5	グループワーク	話す・聴くことに加え、絵や文、ゲームなどを楽しみながら、他者とのかかわり方を学ばせた。	
6	キャリア(職業的自立)のための家族支援セミナー	働きたいのに就労ができない「わが子」を日々目の当たりにして、親として、家族として「何か」できないものかと困惑している方々への情報提供と、相談支援を行った。	
7	社会力向上プログラム	「短期集中型プログラム」を実施し、就労に向けた「心技体」を一週間で習得させた。	
8	生活力向上プログラム	共同作業などの他者との関わり合いをとおして、コミュニケーション能力を身につけさせるとともに、生活習慣を見直し、活力ある就活に向けての支援を行った。	
9	メンタルトレーニング	仕事面で役に立つリラックス法やポジティブな自動思考になる方法を、臨床心理士からの講義と実践によって学ばせた。	
10	就職セミナー	ビジネスマナー講座、グループディスカッション、履歴書・職務経歴書の書き方、模擬面接、学習講座等の就職準備セミナーを行った。	
11	職業触れ合い事業	実際に働く社会人から、仕事内容や仕事観等を聞くことで、職業理解を深め、就労意欲を高めた。	
12	ジョブトレーニング	ボランティア活動をとおして、社会復帰への一助とした。	
13	山梨県若者サポートステーション(厚生労働省委託金)	キャリアコンサルタントによる相談事業をおこない、若年無業者の就労に向けての支援を行った。	委託事業

青少年センター自主事業実施状況(青少年育成山梨県民会議事業)

番号	事業名	主な内容	
14	高校生のネット・シンポジウム	県内各校の代表が一堂に会して、インターネットの適切な使い方等について理解を深めるため、身近な「インターネット利用の問題」や「安全・安心な社会」「情報モラル」等をテーマに、共に考え意見交換するシンポジウムを開催した。	補助金事業
	ホームページによる情報提供	青少年育成の県民運動の展開状況や青少年育成事業等について、広く周知することによって、青少年の健全育成活動の促進を図った。	
	「家庭の日」「青少年を育む日」推進運動事業	「家庭の日」、「青少年を育む日」に親子を対象とした事業を実施し、ふれあいをとおして、家族のつながりの大切さを改めて理解する機会を提供した。	
	インターネット安全利用事業	教師と保護者を対象に「インターネット安全利用研修会」を開催し、安全利用啓発に努めた。	
	青少年関係NPO法人等ネットワーク事業	各青少年関係NPO法人や市町村民会議等が共通認識と相互理解のもとで緊密に連携し、青少年の育成活動を推進するため、連絡会議及びフォーラムを開催した。	
	青少年育成市町村民会議連携合同会議	青少年育成市町村民会議との合同会議を開催し、青少年の諸問題に関する専門家を招いて研修を行い、意識を高めた。	
	有害環境浄化推進パンフレット作成・配布事業	スマートフォンや携帯電話安全利用啓発パンフレットを作成し、「教師と保護者のためのインターネット安全利用研修会」において資料として活用するとともに、県内国公立小学5・6年生の全保護者に配布した。	

青少年センター自主事業実施状況(青少年育成山梨県民会議事業)

番号	事業名	主な内容	
15	青少年・青少年育成功労者等表彰事業	7月に開催された「青少年の非行・被害防止県民大会」の会場において、6表彰区分(善行表彰の青少年、自主活動表彰の青少年・団体、青少年健全育成功労者の指導者・功労者・団体)の受賞者を表彰した。	
16	「あいさつ・声かけ運動」市町村民会議等普及事業	「あいさつ・声かけ運動」を全県的に展開するため、各地域の育成会や老人クラブ等に影響力を持つ各市町村民会議において、各地の特性に応じた「あいさつ・声かけ運動」を展開するよう働きかけを行った。	
17	白ポスト事業	青少年にとって有害なビデオや図書の回収のために、JR駅等に設置された白ポストの維持管理を行った。	
18	少年の主張	広い視野と柔軟な発想や創造性と共に、物事を理論的に考える力や、自らの主張を正しく理解してもらおう力を身につけさせるために実施した。	委託事業

## 青少年センター 年度別稼働率・利用者数

### 1 平成18年度～平成27年度の施設稼働率

年間稼働率（体育施設・会議施設・宿泊室）

平成18年度	52%
平成19年度	52%
平成20年度	51%
平成21年度	51%
平成22年度	51%
平成23年度	52%
平成24年度	54%
平成25年度	50%
平成26年度	52%
平成27年度	53%

H27 室内プール12月～3月まで暖房故障のため利用休止

全体稼働率計算方法（詳細：別紙）

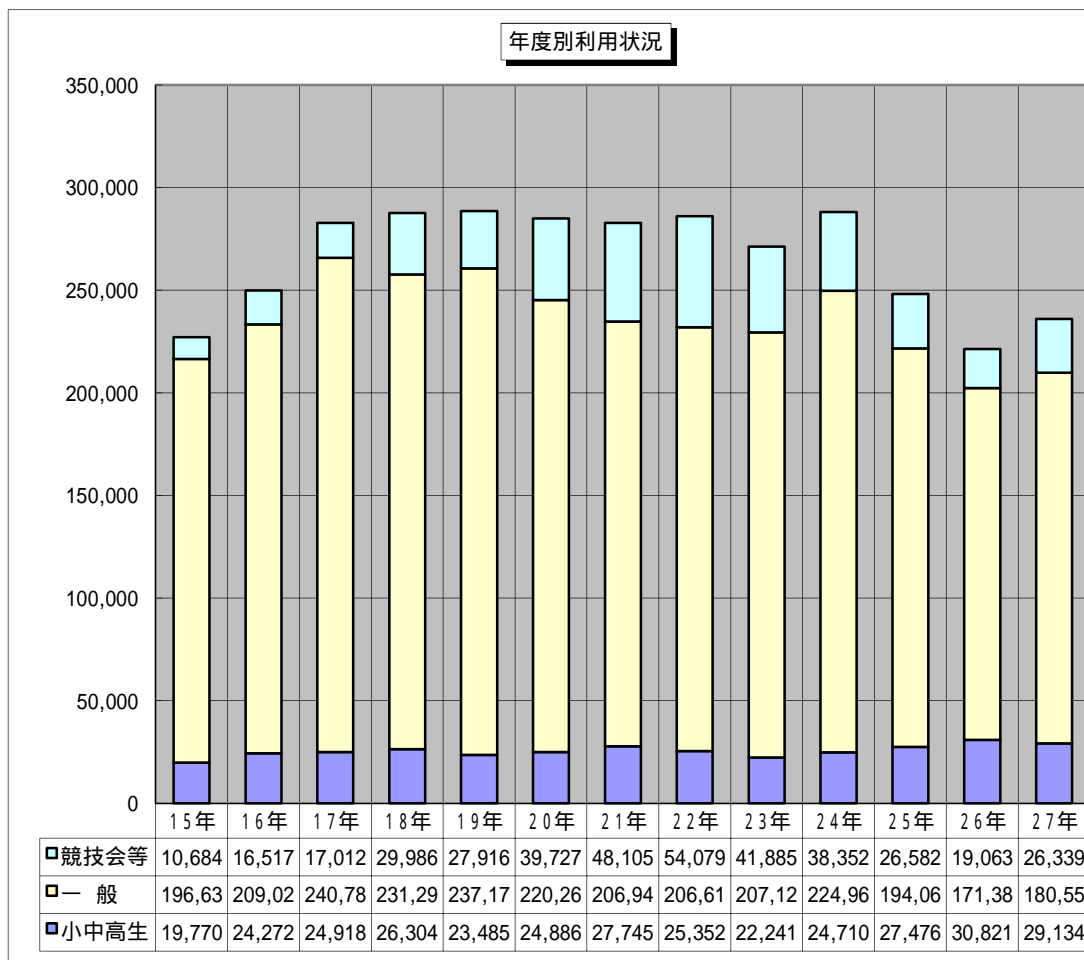
### 2 平成18年度～平成27年度の利用者数

利用状況	目標値	利用者数実績値
平成18年度	287,000人	287,583人
平成19年度	288,000人	288,571人
平成20年度	289,000人	284,876人
平成21年度	289,000人	282,790人
平成22年度	289,000人	286,042人
平成23年度	289,000人	271,252人
平成24年度	289,000人	288,025人
平成25年度	289,000人	248,126人
平成26年度	288,461人	221,267人
平成27年度	288,898人	236,024人

### 3 平成18年度～平成27年度の利用者数の属性

・年度別利用状況

年度	小中高生	一般	競技会等	合計
15年	19,770	196,633	10,684	227,087
16年	24,272	209,025	16,517	249,814
17年	24,918	240,783	17,012	282,713
18年	26,304	231,293	29,986	287,583
19年	23,485	237,170	27,916	288,571
20年	24,886	220,264	39,727	284,877
21年	27,745	206,940	48,105	282,790
22年	25,352	206,611	54,079	286,042
23年	22,241	207,126	41,885	271,252
24年	24,710	224,963	38,352	288,025
25年	27,476	194,068	26,582	248,126
26年	30,821	171,383	19,063	221,267
27年	29,134	180,551	26,339	236,024





平成27年度 県立青少年センター 施設別利用状況(会議室等)

施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
本館	第1研修室	801	1,045	1,504	1,555	1,642	1,345	1,741	1,786	770	1,721	2,059	1,665	17,634
	第3会議室	484	734	527	509	746	577	1,069	1,183	248	1,864	1,251	1,065	10,257
	第1会議室	557	915	753	693	717	684	1,334	831	450	1,652	1,057	1,017	10,660
	第2会議室	435	620	796	793	306	658	748	668	426	947	920	922	8,239
	第4会議室	180	241	155	196	224	372	234	253	136	425	289	180	2,885
	第1・2和室	179	171	191	200	151	143	194	362	141	685	815	2,504	5,736
	宿泊室	306	297	273	461	730	339	210	185	35	112	432	401	3,781
	居場所づくり	153	149	141	298	436	169	105	93	18	56	216	201	2,035
別館	多目的ホール	2,288	2,411	2,357	3,298	2,621	2,165	3,722	3,582	2,603	1,339	2,688	2,793	31,867
	音楽室	374	500	578	595	671	486	1,226	550	469	675	537	707	7,368
リバー ス 和 戸 館	第5会議室	346	378	347	472	301	259	526	505	279	427	391	331	4,562
	第6会議室	251	255	425	482	1,408	260	416	352	456	712	407	302	5,726
	第7会議室	280	242	301	309	1,179	311	438	189	197	725	275	238	4,684
	第2研修室	444	945	732	1,067	1,989	635	1,515	971	388	1,201	1,180	1,079	12,146
	第3研修室	479	529	575	522	1,606	404	771	557	556	1,344	637	625	8,605
	第3和室	207	211	304	375	340	204	204	211	108	756	233	194	3,347
	視聴覚室	606	671	805	887	1,090	730	668	754	605	1,164	777	887	9,644
合計		8,370	10,314	10,764	12,712	16,157	9,741	15,121	13,032	7,885	15,805	14,164	15,111	149,176

## 平成27年度 県立青少年センター 施設別利用状況(体育施設)

施設名		年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
			人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
運動場	個人	27	200	246	226	481	276	322	495	645	309	369	406	3,330	7,305
	団体	27	554	200	229	93	400	69	4,647	612	207	24	130	517	7,682
	総数	27	754	446	455	574	676	391	5,142	1,257	516	393	536	3,889	15,029
テニス	個人	27	737	925	734	769	971	787	883	593	632	465	600	732	8,828
	団体	27	71	135	0	40	29	0	22	48	0	0	20	0	365
	総数	27	808	1,060	734	809	1,000	787	905	641	632	465	620	732	9,193
体育館	個人	27	1,518	1,992	1,504	1,589	1,683	1,501	1,403	1,299	1,262	1,540	1,660	2,055	19,006
	団体	27	554	410	880	424	515	308	3,451	1,060	246	104	267	266	8,485
	総数	27	2,072	2,402	2,384	2,013	2,198	1,809	4,854	2,359	1,508	1,644	1,927	2,321	27,491
プール	個人	27	1,484	1,833	1,882	2,493	2,770	1,710	1,494	1,449	521			0	15,636
	団体	27	0	0	0	20	0	0	0	0	0			0	20
	総数	27	1,484	1,833	1,882	2,513	2,770	1,710	1,494	1,449	521	0	0	0	15,656
体育室	個人	27	640	639	790	769	546	646	782	733	513	515	525	568	7,666
	団体	27	599	601	487	822	709	476	950	880	727	678	767	758	8,454
	総数	27	1,239	1,240	1,277	1,591	1,255	1,122	1,732	1,613	1,240	1,193	1,292	1,326	16,120
トレーニング室	個人	27	255	243	211	270	267	219	264	250	265	339	427	349	3,359
	総数	27	255	243	211	270	267	219	264	250	265	339	427	349	3,359
合計		27	6,612	7,224	6,943	7,770	8,166	6,038	14,391	7,569	4,682	4,034	4,802	8,617	86,848

平成27年度県立青少年センター 月別稼働率状況(会議室等)

施設	H27開館日数309日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計			
		使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率	使用回数	稼働率
本館	第1研修室	午前	7	27%	9	33%	17	68%	14	50%	11	37%	10	42%	11	42%	12	46%	5	22%	11	52%	11	48%	8	31%	126	40.8%	
		午後	11	42%	16	59%	21	84%	17	61%	17	57%	19	79%	23	88%	17	65%	10	43%	15	71%	15	65%	13	50%	194	63.0%	
		夜	2	8%	3	11%	5	20%	7	25%	10	33%	7	29%	5	19%	6	23%	5	22%	7	33%	9	39%	8	31%	74	24.0%	
	第3会議室	午前	12	46%	11	41%	13	52%	12	43%	10	33%	9	38%	18	69%	15	58%	8	35%	14	67%	10	43%	11	42%	143	46.4%	
		午後	14	54%	15	56%	17	68%	18	64%	15	50%	14	58%	20	77%	17	65%	11	48%	19	90%	15	65%	13	50%	188	61.0%	
		夜	6	23%	5	19%	4	16%	4	14%	5	17%	8	33%	3	12%	4	15%	6	26%	6	29%	9	39%	4	15%	64	20.8%	
	第1会議室	午前	18	69%	8	30%	20	80%	18	64%	11	37%	14	58%	21	81%	13	50%	8	35%	12	57%	10	43%	10	38%	163	52.9%	
		午後	15	58%	16	59%	22	88%	18	64%	16	53%	14	58%	23	88%	17	65%	13	57%	19	90%	16	70%	14	54%	203	65.9%	
		夜	5	19%	4	15%	7	28%	6	21%	4	13%	5	21%	8	31%	3	12%	7	30%	10	48%	9	39%	7	27%	75	24.4%	
	第2会議室	午前	5	19%	8	30%	6	24%	13	46%	6	20%	11	46%	18	69%	12	46%	4	17%	11	52%	10	43%	10	38%	114	37.0%	
		午後	7	27%	13	48%	15	60%	13	46%	10	33%	12	50%	20	77%	16	62%	11	48%	14	67%	15	65%	15	58%	161	52.3%	
		夜	4	15%	3	11%	5	20%	1	4%	2	7%	8	33%	3	12%	5	19%	5	22%	5	24%	7	30%	6	23%	54	17.5%	
	第4会議室	午前	9	35%	11	41%	8	32%	14	50%	11	37%	14	58%	12	46%	10	40%	8	35%	10	42%	12	52%	7	25%	126	40.9%	
		午後	18	69%	20	74%	13	52%	16	57%	16	53%	18	75%	16	62%	18	72%	15	65%	13	54%	11	48%	16	57%	190	61.7%	
		夜	0	0%	1	4%	3	12%	1	4%	6	20%	4	17%	4	15%	1	4%	2	9%	3	13%	9	39%	2	7%	36	11.7%	
	第1和室	午前	4	15%	7	26%	6	24%	9	32%	9	30%	8	33%	6	23%	9	36%	4	17%	8	33%	7	30%	7	25%	84	27.3%	
		午後	7	27%	11	41%	14	56%	14	50%	11	37%	10	42%	11	42%	9	36%	4	17%	8	33%	7	30%	7	25%	113	36.7%	
		夜	10	38%	11	41%	12	48%	8	29%	10	33%	6	25%	9	35%	8	32%	10	43%	8	33%	6	26%	8	29%	106	34.4%	
	第2和室	午前	5	19%	5	19%	2	8%	5	18%	1	3%	2	8%	2	8%	5	20%	1	4%	3	13%	3	13%	3	11%	37	12.0%	
		午後	4	15%	4	15%	4	16%	5	18%	3	15%	4	15%	5	18%	3	13%	4	17%	4	17%	4	17%	5	18%	46	14.9%	
		夜	9	35%	8	30%	9	36%	8	29%	4	13%	7	29%	9	35%	8	32%	8	35%	7	29%	6	26%	6	21%	89	28.9%	
	別館	多目的ホール	午前	15	58%	11	41%	14	56%	16	57%	15	50%	13	54%	15	58%	15	60%	14	61%	13	54%	14	61%	10	36%	165	53.6%
			午後	17	65%	21	78%	20	80%	20	71%	16	53%	15	63%	16	62%	16	64%	16	70%	12	50%	19	83%	15	54%	203	65.9%
			夜	10	38%	13	48%	13	52%	14	50%	14	47%	12	50%	15	58%	12	48%	13	57%	11	46%	14	61%	17	61%	158	51.3%
音楽室		午前	6	23%	8	30%	8	32%	8	29%	13	43%	8	33%	12	46%	14	56%	10	43%	10	42%	12	52%	13	46%	122	39.6%	
		午後	8	31%	12	44%	11	44%	16	57%	19	63%	12	50%	15	58%	14	56%	13	57%	17	71%	14	61%	16	57%	167	54.2%	
		夜	14	54%	17	63%	16	64%	17	61%	17	57%	14	58%	18	69%	16	64%	13	57%	17	71%	16	70%	17	61%	192	62.3%	
リバー入和戸館	第5会議室	午前	12	46%	16	59%	14	56%	14	50%	19	63%	12	50%	17	65%	13	52%	11	48%	13	54%	14	61%	10	36%	165	53.6%	
		午後	18	69%	21	78%	17	68%	24	86%	19	63%	16	67%	22	85%	19	76%	19	83%	11	46%	16	70%	16	57%	218	70.8%	
		夜	12	46%	13	48%	10	40%	14	50%	14	47%	10	42%	10	38%	13	52%	11	48%	10	42%	14	61%	10	36%	141	45.8%	
	第6会議室	午前	8	31%	10	37%	21	84%	17	61%	18	60%	12	50%	12	46%	14	56%	14	61%	13	54%	11	48%	13	46%	163	52.9%	
		午後	12	46%	16	59%	24	96%	24	86%	22	73%	16	67%	18	69%	18	72%	17	74%	17	71%	18	78%	12	43%	214	69.5%	
		夜	9	35%	7	26%	7	28%	13	46%	9	30%	9	38%	9	35%	6	24%	5	22%	5	21%	9	39%	7	25%	95	30.8%	
	第7会議室	午前	7	27%	5	19%	6	24%	5	18%	4	13%	8	33%	11	42%	3	12%	4	17%	6	25%	4	17%	5	18%	68	22.1%	
		午後	10	38%	8	30%	10	40%	12	43%	7	23%	12	50%	16	62%	9	36%	8	35%	8	33%	12	52%	10	36%	122	39.6%	
		夜	0	0%	0	0%	2	8%	0	0%	3	10%	2	8%	0	0%	1	4%	1	4%	2	8%	2	9%	0	0%	13	4.2%	
	第2研修室	午前	6	23%	10	37%	22	88%	24	86%	21	70%	11	46%	17	65%	15	60%	2	9%	6	25%	9	39%	15	54%	158	51.3%	
		午後	7	27%	14	52%	24	96%	25	89%	22	73%	12	50%	21	81%	14	56%	8	35%	14	58%	19	83%	16	57%	196	63.6%	
		夜	2	8%	6	22%	5	20%	5	18%	5	18%	6	25%	6	23%	3	12%	1	4%	3	13%	8	35%	11	39%	61	19.8%	
	第3研修室	午前	8	31%	9	33%	14	56%	11	39%	14	47%	9	38%	13	50%	8	32%	8	35%	11	46%	10	43%	12	43%	127	41.2%	
		午後	12	46%	15	56%	19	76%	18	64%	18	60%	11	46%	18	69%	17	68%	13	57%	15	63%	17	74%	15	54%	188	61.0%	
		夜	11	42%	8	30%	6	24%	6	21%	7	23%	5	21%	9	35%	6	24%	9	39%	8	33%	8	35%	9	32%	92	29.9%	
	第3和室	午前	6	23%	5	19%	9	36%	9	32%	4	13%	6	25%	5	19%	4	16%	5	22%	8	33%	4	17%	6	21%	71	23.1%	
		午後	3	12%	6	22%	8	32%	10	36%	6	20%	6	25%	7	27%	5	20%	3	13%	9	38%	5	22%	6	21%	74	24.0%	
夜		5	19%	8	30%	10	40%	9	32%	7	23%	6	25%	7	27%	6	24%	5	22%	8	33%	6	26%	7	25%	84	27.3%		
視聴覚室	午前	9	35%	11	41%	12	48%	12	43%	8	27%	7	29%	9	35%	6	24%	8	35%	12	50%	11	48%	12	43%	117	38.0%		
	午後	12	46%	13	48%	19	76%	19	68%	8	27%	14	58%	14	54%	17	68%	12	52%	13	54%	12	52%	15	54%	168	54.5%		
	夜	5	19%	6	22%	3	12%	1	4%	4	13%	5	21%	3	12%	3	13%	5	21%	4	17%	3	11%	4	15%	45	14.6%		
合計(延団体数)		416	33%	478	37%	567	47%	584	43%	521	36%	472	41%	581	47%	497	41%	392	36%	484	42%	503	46%	478	36%	5,973	40.3%		
宿泊室(部屋)		83	38%	81	37%	73	35%	131	52%	185	64%	98	49%	60	27%	47	24%	11	6%	35	18%	105	58%	115	46%	1,024	39.1%		

## 平成27年度 県立青少年センター 月別稼働状況(体育施設)

場所	体育館( 1)			運動場( 2)			プール( 3)			体育室( 4)			トレーニング室( 5)			テニス( 6)		
	使用コマ数	使用可能コマ数	稼働率	使用コマ数	使用可能コマ数	稼働率	使用コマ数	使用可能コマ数	稼働率	使用コマ数	使用可能コマ数	稼働率	使用コマ数	使用可能コマ数	稼働率	使用コマ数	使用可能コマ数	稼働率
4月	253	316	80%	105	316	33%	78	82	95%	199	316	63%	78	82	95%	174	316	55%
5月	284	329	86%	83	329	25%	81	86	94%	204	329	62%	81	86	94%	223	329	68%
6月	245	304	81%	109	304	36%	75	79	95%	215	304	71%	75	79	95%	182	304	60%
7月	268	340	79%	96	340	28%	84	88	95%	213	340	63%	84	88	95%	199	340	59%
8月	316	365	87%	78	365	21%	90	95	95%	240	365	66%	90	95	95%	260	365	71%
9月	255	292	87%	76	292	26%	72	76	95%	188	292	64%	72	76	95%	178	292	61%
10月	265	312	85%	185	312	59%	78	78	100%	237	312	76%	78	78	100%	202	312	65%
11月	243	300	81%	128	300	43%	75	75	100%	217	300	72%	75	75	100%	163	300	54%
12月	222	272	82%	84	272	31%	27	27	100%	187	272	69%	68	68	100%	177	272	65%
1月	236	288	82%	82	288	28%	0	0	0%	208	288	72%	72	72	100%	124	192	65%
2月	242	276	88%	86	276	31%	0	0	0%	214	276	78%	69	69	100%	180	276	65%
3月	288	303	95%	138	303	46%	0	0	0%	213	303	70%	82	82	100%	217	322	67%
年間	3117	3697	84%	1250	3697	34%	660	686	96%	2535	3697	69%	924	950	97%	2279	3620	63%

### 年間

使用回数	使用可能回数	稼働率
10765	16347	66%

- 1 体育施設( バレーボール・バスケットボール1面、 バトミントン2面、 卓球4台):使用可能コマ 各1時間×12
- 2 運動場:使用可能コマ 各1時間×12
- 3 プール:午前・午後・夜 3コマ
- 4 体育室 ( 半面、 半面、 舞台):使用可能コマ 各1時間×12
- 5 トレーニング室:午前・午後・夜 3コマ
- 6 テニスコート(2面):使用可能コマ 各1時間×12

県支出の修繕費、備品購入費等一覧

(別紙1)

(単位:円)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
指定管理費	101,452,000	100,708,000	100,989,000	105,025,000	103,986,000	103,781,000	103,427,000	102,258,000	107,180,000	103,978,000	
県支出	施設修繕・改修費 (60万円以上 / 件)	-	-	-	2,030,700	13,026,300	24,242,400	10,899,000	2,500,000	4,783,040	15,259,320
	備品修繕費 (60万円以上 / 件)					661,500					
	備品購入費	715,890	470,400	1,160,670		454,650	289,800	429,870			
	小計	715,890	470,400	1,160,670	2,030,700	13,480,950	25,193,700	11,328,870	2,500,000	4,783,040	15,259,320
	施設火災保険	35,464	35,464	37,959	37,959	25,450	25,162	25,108	4,156	4,156	4,156
	損害賠償(施設の瑕疵)										
	その他( 動産総合 )	5,980	5,980	4,640	5,630	5,370	5,630	5,370	5,970	5,970	5,970
	その他( 車両 )	44,760	64,900	49,600	73,950	33,600	35,100	95,710	41,020	81,170	70,240
合計	802,094	576,744	1,252,869	117,539	64,420	65,892	126,188	51,146	91,296	80,366	

指定管理者との基本協定書に基づき県が負担する事項(金額)について記載してください。  
他に支出がある場合は、「その他( )」に項目を追加してください(複数項目ある場合は行を追加してください)。